



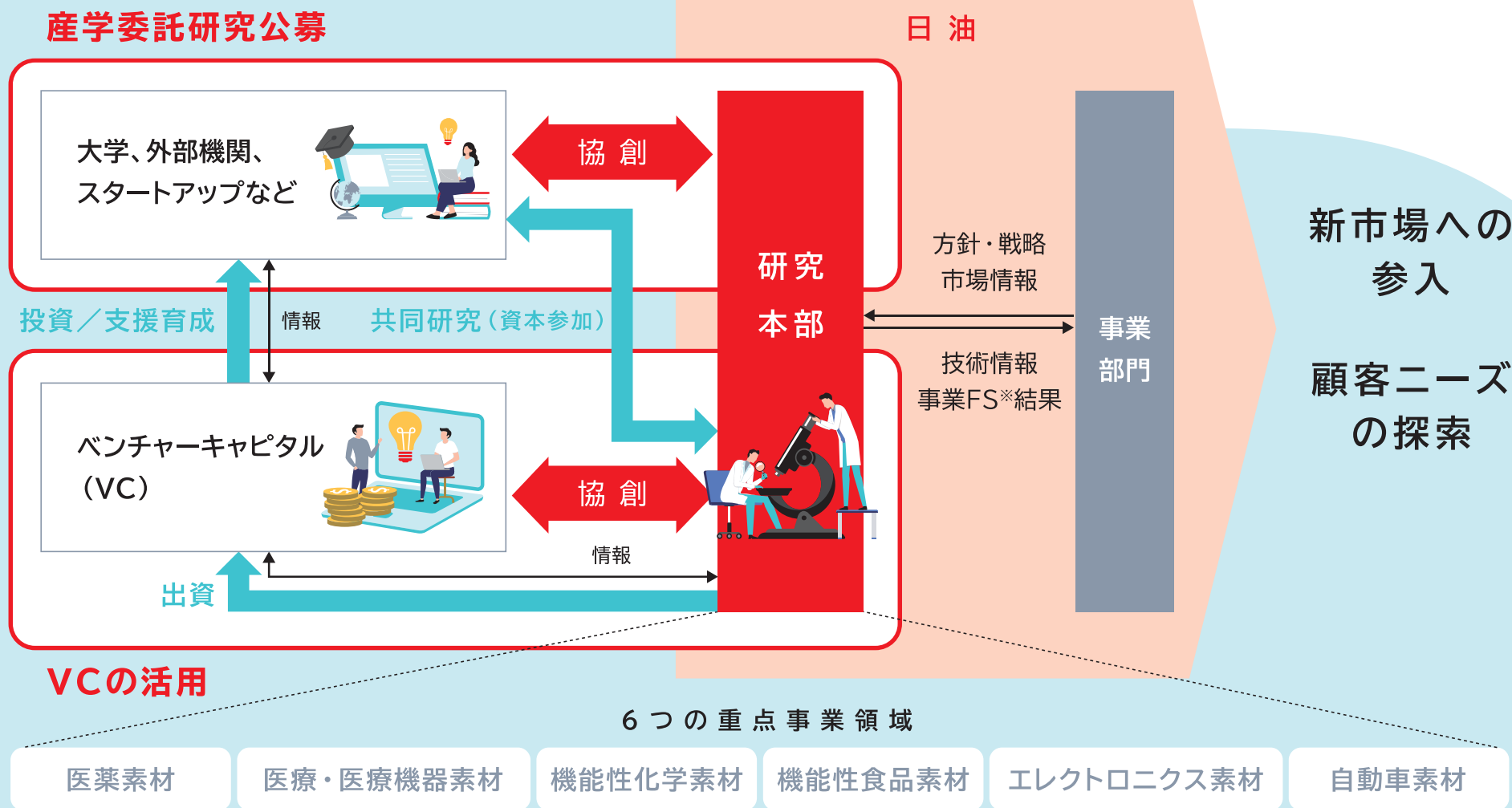
挑 戦



研究開発



日油グループは、新たな製品・技術開発に挑戦します。公募、産学官連携などの社外協創を経て、オープンイノベーションを推進し、ニーズの高まりが予想される各市場において新たな事業領域を切り拓いていきます。



※ Feasibility Study（フィージビリティスタディ）：計画したプロジェクトの実現性を事前に調査すること。

挑戦



常務執行役員 研究本部長 工学博士

姜 義哲

未来の社会、未来の日油をつくるために 新規事業を生み出し、次のステージに挑みます。

NOF VISION 2030への新たな挑戦

日油グループは、中期経営計画「NOF VISION 2030」を策定し、2030年度のありたい姿に向け、2023年度を起点とした2025中計を「収益拡大ステージ」、2028中計を「事業領域拡大ステージ」と位置付け、事業の拡大を図っています。研究開発分野においては、『ライフ・ヘルスケア』、『環境・エネルギー』、『電子・情報』の目指す3分野に向けた戦略投資で、新製品・新技術開発を加速する」という目標を掲げました。

この達成に向け、「成長市場分野において、スタートアップ企業との協創や包括的産学官連携を柱に市場優位性のある新技術の導入による新規事業を創出する」という基本戦略のもと、新たな重点事業領域を選定しました。

重点6分野を策定し、市場の競争力を強化

重点事業領域として、集中的に研究投資を行う6分野（医薬素材、医療・医療機器素材、機能性化学素材、機能性食品素材、エレクトロニクス素材、自動車素材）を選定しました。各分野では、さらなる市場競争の激化が予想されています。産学官連携やベンチャーキャピタル（VC）との協創についても、この6分野を中心に研究開発を進める予定です。

医薬素材や医療・医療機器素材では、特にここ数年、再生医療に対するニーズが高まっています。当社も化学素材でいち早く参入できるよう、事業化に向けた体制を整えています。機能性化学素材では、バイオマスを原料とした化学原料を製造するなど、持続可能な社会に対する取り組みを推進します。機能性食品素材は、美容、生活習慣病、免疫、脳機能の

特集 | 社会課題解決を支える日油の3つの価値観

4分野に効果のある、健康食品素材の開発を目標に、すべての人々が健康に生活できるよう、新たな素材に対する検討を重ねています。エレクトロニクス素材では、半導体や5G・6G通信用素材などの新素材の



製品化に向け、チーム一丸となって動いています。最後の自動車素材では、EV車向け二次電池のさらなる性能向上を目指した素材の開発を進めています。

外部組織との連携で新規事業を創出

重点6分野の強化に向け、当社では、オープンイノベーションへの参画を継続しています。外部機関と連携することで、既存の事業領域にとらわれない、新たな技術・事業の発掘が期待できます。そのため、従来の産学官連携に加え、2024年1月、優れた技術・事業への投資活動を行うVC、ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター(株)に出資しました。VCへ出資を決めた背景としては、スタートアップの有望技術の事業性のスピーディーな判断や当社にない専門性を有していることが挙げられます。出資先企業をビジネスパートナーとして協創を図ることで、事業を“種”からでなく、“芽”が出ている状態から短期間で育てることができます。さらに、VCへの出資は人材育成や研究開発の推進にもつながります。多面的な効果を期待しつつ、今後もスタートアップ各社との

関係を強化していきます。

さらに、2021年度に立ち上がった産学連携プロジェクトでは、初年度には機能性化学分野において成果を上げ、2022年度はエレクトロニクス分野と健康食品分野、さらに2023年度は医療・医療機器分野へと裾野を広げました。各分野については、テーマの探索、研究を順次開始しています。

目の前の顧客課題を解決するだけでなく、会社全体の将来を担い、方向性を定めることが研究本部の役割だと考えています。研究本部の一人ひとりが「自ら考え、実践する」自発的な従業員となれるよう、社内の研修や教育制度を使って受け身の姿勢で学ぶだけでなく、リーダーシップ力を向上。さらに、自己啓発ができるような、従業員の成長を促す環境づくりに努め、個の力とチーム力で挑戦を続けます。

